

豊栄地区公民館運営審議会 会議概要

令和6年度 第9期第3回豊栄地区公民館運営審議会			
開催日時	令和6年7月31日（水曜） 午後1時30分～午後4時07分		
会場	豊栄地区公民館 3階 大講堂		
出席者	委員	<p style="text-align: right;">* 敬称略</p> 石黒委員、梅津委員、大原委員、神田委員、倉島委員、 栗原委員、玉井委員、土田委員 渡辺委員 （欠席 マルシェフ委員） 計 9人	
	事務局	豊栄地区公民館	渡辺館長、尾崎主任、小池主査、角田主査、五十嵐主事 天尾
		北地区公民館	岩本館長
内容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ 土田議長・渡辺館長</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 「令和5年度事業報告・事業評価について」</p> <p>ア 「豊栄地区公民館事業報告・事業評価」</p> <p>イ 「北地区公民館事業報告・事業評価」</p> <p>「新潟市公民館事業の基本方針」、「令和6年度豊栄地区公民館運営審議会資料」に基づき、豊栄地区公民館分を事務局から、続けて「令和6年度北地区公民館運営審議会資料」に基づき、事務局から説明を行いました。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B評価について、見直しを考えていると思うが、男性と女性であれば、女性の方が参加者が多くて男性が少ない。どこへ行っても同じである。男性を呼ぶいい手立てがないか。フレイルの講座でも10人のうちに1人か2人が男性である。その点は私も協力するが、見直しをしていただきたいと思う。 <p>(渡辺館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの年代も男性の参加を非常に望んでいるが、苦勞している。家庭教育支援事業で、お父さんが参加できるような仕組み、普通に参加できるようにするのは、これからの大きなテーマになっていこうかと思う。 <p>また、地域を見てみるとボランティアになっていただけそうな方々を掘り起こす、気軽に見ていただいて楽しくボランティア、もしくは地域のために参加できるような、楽しくできて、また還元できる。そういう仕組み作りもうまくできたらいいと思っている。</p> <p>ぜひ皆さんのヒントなり、うまくいった例など、教えていただきたいと思う。</p> <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て関係の講座に、お父さんが出てきたというのは、間違いなくいいことだと思う。そういう方から別のお父さん、お母さんに声をかけてもらって、連れてくるやり方にしたほうがいいのか。 		

内 容	<p>子育ては二人でやらなければ、なかなか大変である。</p> <p>(土田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても大事な意見である。男性の方の目線と男性の方が子育てに参加するというのはすごく大事なことで、いずれ子供に負担が来るというか、親がいろんなものを共有するとか、吸収するっていうのはキャパシティが広がるので子育てにも繋がっていくので、大事な意見だと思う。 <p>(神田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の栗原委員の方の男性の参加のご意見について、私もそこは興味深いところでありまして、いろいろな地域の活動とかいろんな教室でもそのような状況があります。今ここにも男性がいらっしゃるが、どういうものに興味があるのか教えていただきたい。例えば、どういう教室、講座、活動であれば、公民館の活動であり、何に対して興味があるということがもしわかれば、教えていただきたい <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所だんぎ」は、内容を選んで出ている。「栄養」がテーマの時は関心はなかったが、一番よかったのは、「地域絆事業」の防災アプリの学びについて参加した時だった。新潟市から、どんどん情報が入ってくるので、アプリの登録はとも良かった。別のお父さん方に教えることはできないが、すごくいいよって言っている。津波の傾向もすぐわかる。こういうものは、どんどん男性が参加するべきかなと思う。 <p>(梅津委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性参加は、これからは本当に大事なことと思う。男性の方たちの働き方とかなど色々と考えていかないといけない。企画運営委員を選ぶ時に、やはり男性が何人とかあるか。そこに男性の委員に入ってもらおうような仕掛けをすると、男性の目線の事業ができるように思う。 ・また、女性セミナーについて、自分は参加できなかったが、すごくいいところに目をつけて、取り組んでいると思った。これからも女性セミナーを頑張ってもらいたいと思うが、女性セミナーという、その女性という表記を付けないといけないのかな、というのが一つ。まだそういう時なのかな、とも思うが、女性セミナーについてはすごく評価できると思った。 ・家庭教育のペアレントプログラムのことで、幼児期はとても大事だと思う。昔小学校では、中学年、高学年が大変だと言われていたが、今、大変なのは1年生2年生、もしかすると子どもたちはマイナス2歳から3歳のレベルでのこころの発達や知的なことなど、マイナスで見えていかないといけないと感じる。1年生で入って来てもちちゃんと席につかない、先生の話聞いてもらえない、騒ぎまくる、自分勝手なことをする、ご飯をお箸やスプーンを使えなくて手で食べる。そういったことをいろいろ情報が入ってきていて、はて？それはどこがどうなっているんだろう？多分、親御さんも頑張ってると思うが、その頑張ってる子育てしている視点が少しずれてるのか。そういうことをとても感じていて、このままずっとこの後改善されていかなければ、どういう風になっていくんだろうかと、とても心配しています。やっぱり家庭教育学級は本当に大事なことなので、ここら辺も力を入れて今後もよろしくお願ひしたいし、頑張ってもらいたいと思う。 <p>(土田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見に本当に衝撃である。確かに保育園で私働いているが、そのような子もいるので、小学校になったら大丈夫なのかなと、少し心配になったりしていた。実際そういう姿があるというのは衝撃である。お母さんたちもそれを知ってらっしゃるのか、それともそれをスルーしていいと
-----	---

内 容	<p>思っていたら、少しこれから不安になることかなと思う。なので、できたら公民館プラスで、あと企画委員は、講座で何人いて、どういう感じの方がいるのか。</p> <p>(天尾)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性セミナーについては、今年度は、企画委員 5 人、そのうち 2 人が男性である。 <p>先ほどの女性セミナーの女性という表記について、女性セミナーは男女共同参画社会のための意識啓発という位置付けでもある。女性セミナーを通して学びの機会を提供するという目的がある。女性の学びを促進するために女性と付けたと聞いている。実際、女性セミナーということで安心して参加できたという声もある。女性セミナーを担当して 5 年になるが、男女共同参画社会を目指した意識啓発はまだ足りないと感じている。</p> <p>そして、女性の学びをもっと促進していかなければならないと感じている。</p> <p>しかし、現在女性セミナーを開催している公民館は、25 館のうち、豊栄地区を含め、4 館である。女性セミナーでなくなると、位置付けが変わるため、今後も女性セミナーのままにしていきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、3 年ぐらい前に男性から参加について問い合わせがあった。昨年度は女性セミナーとしたが、対象は誰でもとし、男性 3 人の参加があった。 <p>参加された 3 人うち 2 人が、企画委員として今年度企画に携わっていただいた。今年度は女性セミナーと一切広報には載せず募集をしたところ、16 人中 4 人の男性から申し込みがあった。</p> <p>お手元の緑のチラシの「アンコンシャスバイアスを知る」という内容は、その企画委員さんと一緒に企画したものである。</p> <p>(玉井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区公民館の一休さんの参加者希望少数のため中止になった、ポッチャ体験について、申し込みは何人か。 <p>(岩本館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 人である。 <p>(玉井委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 人とかゼロだったら仕方がないと思うが、やってみたいという気持ちを大事にしてほしいと思う。少数でも、もし開催可能であれば、やる方向にできないのか。もしかして一回やってみて。面白かったら、あれ面白かったよと、やってみたいと言って、他の人たちも呼び込めるかもしれない。ゼロとか 1 でなければ。中止にせず、時間を短くして開催するとか、色々工夫しても良かったのでは、と思う。 <p>(岩本館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業につきましては、公民館単独ではなく、地域の方、倉島委員にも地域ボランティアとして入っていただいている。それと、医療福祉大の学生、その方々が事業内容を検討して来た中で、結果として思わしくない数字だった。 <p>今ほどの玉井委員のご意見を踏まえて、今後どうするかということをメンバーで共有していきたいと思う。</p> <p>(土田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も、2 人の申し込みであっても、皆さんが企画してくださった、せっかくのものなので、参加できたら何か得るものがあったのかなと思った。 <p>(石黒委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区公民館、豊栄地区公民館も利用者数が令和 5 年度増えていると思うが、何が理由だと分析しているか。 <p>(渡辺館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年、3 年にコロナ禍の影響を大きく受け、令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことが、何よりも大きな歴史の節目だったと思う。ただ、すぐ伸びたわけではなく、やはり人々の気持ちだったり、ライフスタイ
-----	---

内 容

ルだったり、行動の変化があるかなと思っている。すぐ伸びたわけではなく、じわじわと伸びてきており、今後またどういった動きになるのかということころは、見ていく必要があるかと思う。

- ・また、全公民館施設も利用動態等を計算しているが、豊栄地区公民館の工作室の陶芸窯が故障し、修理に中国から部品を輸入する関係で非常に時間を要して、ご迷惑をおかけしたということがあった。もう少し数字が伸びていたかなということころはあるが、それによって利用制限があり、微増であったかなと思う。そういった要因にも左右されるので、大きなところではコロナ禍からの移行したということ、マイナスの要素も一つあったということころ。

(尾崎主任)

- ・豊栄地区の資料 16 ページ目、一番下段に企画会議とか実行委員会と呼ばれるものがある、いろんな方々と協働しながら進めていくが、去年は皆さんマスクをし、会議も短時間、コミュニケーションが取りづらくなったような状況であった。話してはいけないと言うか。だんだん回を重ねていくうちに、どういうことができるんだろうか、と互いに意見を出し合っていく中で、あの人に声をかけてみたんさ、など人が繋がっていくものを感じ、そういう点もあったのではと感じている。

(石黒委員)

- ・なんで聞いたかということ、報告を聞き、単にコロナが明けただけではなくて、いろいろと今までしなかったことをできなかったことをやったり、やるにしてもそのまま戻すのではなく、ニーズを捉えながら考えながらやってくれていたんだなと受け止めた。コロナ禍が明けたからだけではない、とお伝えしたかった。
- ・それから、先ほどの男性だったら、自分だったら何に行くかなとか思った時に、以前育児のところに行ったことがあった。
公民館ではなかったが、それは妻と一緒に行ってほしいと言われたところもある。妻の方はやっぱり育児が心配で初めての子であれば特に、友達がほしいということで公民館に行ったことがあった。
- ・自分は今だったら何が興味あるかということ、男の料理である。それだったら、そこで食べながら、女性セミナーのような男性版があってもいいのではと。男性たちだけでいろいろ話しながら、じゃあ今度飲みに行こうかなど、そういうつながりを求めるんだったら、食べるっていうのがすごくいいのではと思う。

(大原委員)

- ・昨日、CS に関する会議があった。学校のボランティアの方で、茶道の方で、公民館の茶道教室の講座に岡方第二小の6年生の女の子が1人に行くようになった、と話していた。うちの学校は、恐らく公民館に行くには親の送迎が必要で、その中で、1人行き始めたのは、親御さんの理解があり、送迎があるということと思う。立地的に公民館に近い校区であれば恵まれていて、遠方の小学校はここに参加するにもなかなかハードルが高く、行きたくても行けないという現状がある。
- ・もう一つは、男性女性いろいろあるかもしれないが、とにかく楽しければ子どもは集まるはずである。大人は自分であれば、お酒のなんかバスツアーのような、そういうわがままは言いませんが、人を増やそうと思わず、地道に続けることは、恐らく、そちらにとっては例年同じことをやるのは働き方改革のはずである。あまり新しいことをやろうとすると、皆さんが大変だと思う。ただし、ちょっと変えろとか、ちょっと止めろとかそういう方が長続きするので、あまり新しいこと、これもあれもと言うと、持続可能ではないのかな、というか気がする。楽しいことは、地道に続けていけば増えるのではないかな。2倍、3倍にと、そんな風には考えず、1人、2人とそれも大事なのではいかと思う。

内 容	<p>(土田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かに 1 人から 2 人と、それから誰かに繋がっていったら、どんどん増えて波紋のようにちょっとずつでも地道にやっていけば、広がるのかなと思う。 <p>(渡辺委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の学生が公民館の活動にたくさん参加させていただき、本日先生方からも各学校に学生が伺っているという話をお聞きし、本当にありがたく思っている。 <p>2012 年から社会連携推進課ができ、センター長が非常にご苦労されながら、昨年からは、社会連携実践練習という形で、授業としてボランティア活動が単位として選択科目ではあるが、認められるようになった、ということで、私どもも大学 4,000 人を超える学生がおり、本当に学生たちが地域で活動するという場を提供していただいている、と感じている。</p> <p>もともと、レクア.コム部は社会福祉学科の学生が始めた活動だったが、今、大学全体でソーシャルアクションというような感じになってきており、大学がローカルアクションを一生懸命やって、社会貢献をすることをバックアップしている状況である。</p> <p>なので、学生がそれを自分自身の社会貢献の機会にするが、その活動を通じて自分のキャリアについて、また、社会の中で生きることについて考えて、キャリアデザインともつながっているような感覚がある。</p> <p>その大学としては地域にある活動だけではなく、海外の大学との交流も再開したりもしているが、まずは縁があって新潟の大学に来た方が、ローカルに活動して、そこで成長していき、社会に出てソーシャルアクションは当たり前なことだ、という風に考えられる社会人になっていくのではないかな、という感じで期待しており、これがまた大学の伝統になっていけたらと、大学の学生のためだけではなく、地域のために本当になっていけるのではないかな、と思っている。本当にありがたく思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会に伺う前に、チャット GPT に公民館の活動で利用者を増やすためにはどのような企画や対策が考えられるか、と尋ねた。遊びのようなもので大変恐縮であるが、ただ皆さん方が今おっしゃったご意見が意外にその着実にチャット GPT が答えた中に入っているような気がして、ちょっと面白かった。 <p>豊栄地区公民館の利用者を増やすためには、どのような企画や対策が良いかという問いを投げかけたら、以下のような企画や対策も考えられます。と返事が来た。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 つ目、地域ニーズの調査。地域住民のニーズを把握するためにアンケートを実施し、どのようなイベントや講座が求められるかを調査します。 2 つ目、多様なイベントの開催、ワークショップや講座、趣味やスキルを学べる講座で、この中に例として料理教室があり、そして地域交流イベント、これはもう公民館活動そのものだと思うんですけど、地域住民同士の交流を促進するためのイベント、この中に文化祭というのが出てくるんですよ。これを企画しますと、出てきた。 3 つ目が子供向けプログラム。先ほど意見のあった、子ども向けのアクティビティが楽しむっていうところに繋がっていくんでしょうかね。アクティビティを提供して親子での参加を促す。 4 つ目に高齢者向けサービス。参加し易い環境を整える、先ほどどうやってそこに行くかというアクセスの問題があったが、参加し易い環境を整えることも必要だろうということ。 5 つ目は、SNS や地域メディアの活用。すでにされているところ。 6 つ目は、コラボレーション。これは、大学とのコラボもそうだが、地域の企業や団体と連携して共同イベントを開催することで、相互の顧客やユーザーの中から参加者が集まるということ。
-----	--

内 容	<p>7 つ目は、利用者の声を反映すること。参加者からのフィードバックを受け入れる。利用満足度を向上する、とあった。</p> <p>最後に、市役所が基本的にオープンな空間になっていると思うので、いいのかと思ったが、8 つ目に、定期的なオープンデーというのが提案されていた。公民館の施設やプログラムの紹介をするオープンデーを設けて、地域住民に気軽に訪ねてもらう機会を提供する。これらの施策を通じて公民館の利用者を増やし、地域の活性化につなげることが期待できます。</p> <p>とチャット GPT は答えました。</p> <p>今まで皆さんがおっしゃったことが、意外に反映されているかなと思いご披露した。</p> <p>(土田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちが出している意見が入っていて安心した。私たちの意見がいろいろ入っている。文献や何かの物を引き寄せて、多分答えがそこに網羅しているので。そこに聞けば答えが出るものでもないが、すごくありがたい意見であり、私たちもそこに、一つひとつ足していき、地道にこれからやっていけるといいのでは、と思った。 ・ 栗原委員の男性の参加を望むものであったり、神田委員の男性の興味深いものがどういうものか、というのは、ご近所だんぎだったり、防災については、地震や、洪水など何かという時に、その助けになるものは何なのかというのがわからなかったが、それがそのスマホなど、必要な情報があれば何かの助けになったり、ご近所さんに伝えられたり、それで命が助かったり。そこで会話が生まれ、何かにつながる面があるのかなと感じ、それが大事だと思った。あと、梅津委員の企画委員に男性が入ればという意見も興味深く、女性セミナーだけではなく、いろんな意見の時に反映されるべきものと思った。 ・ 北地区公民館だけではないと思うが、2 人の応募について、少ないと思うのも確かにあるが、何かを起こすと何かはどこかで広がっていくかもしれないし、せっかくならばやってみようちょっとやれる勇気というか。何かそういうものがあれば、どこかで広がる面があるのかなと。その子たちがどう感じるか、そのボランティアの人がどう感じるかわからないが、何か多分布石になったり、何かの役には立つかなと思った。ちょっと難しいところではある。 ・ 石黒委員の利用人数の増加のご発言に関して、コロナ禍が明けただけではなく、企画して、反省してみて、次のものに反映するものであるので、コロナイコール増えたではなく、何か惹きつけるものであったり、つなげるものがあることで、企画にとっても役立つと思う。また、男性として料理は気になるものですし、私たちも気になるものであるので、できたら男性セミナーも必要で、それにプラス男女で一緒に企画できるような一緒に考えられるような講座であれば、つながりも広がるのかなと思いました。 ・ 大原委員のご発言では、岡方第二小学校の児童が一人茶道教室に参加していると CS さんからのお話で、1 人参加するには誰かの助けがあって、やろうってそこに参加しようと思うのがとても大事で。そこには、お母さんとのやり取りもやおじいちゃん、おばあちゃんにつながりもあって、送迎により広がる面があり、参加するっていうのはとっても大事な面だなと思いました。 ・ 渡辺委員の学生が社会に、地域に根指すというご発言は、すごく大事であり、どんどん小学校から地域ボランティアの人に支えられながら生きてきて、中学校で部活に一生懸命になり、中学、高校と大学になって、今度は自分たちの地域にまた戻って、生活をする。地域に繋がっている自分を考えながら、またどこかに県外に行くとしても、社会とつながっていくという考え方がすごく大事なのかなと思った。そこにつながっていく公民館であってほしいという思い
-----	--

内 容	<p>が、多分皆さんの意見なので、こちらの意見を今回の審議会の意見といたします。</p> <p>(2) 「令和 6 年度事業計画について」</p> <p>ア 「豊栄地区公民館事業計画」</p> <p>イ 「北地区公民館事業計画」</p> <p>「令和 6 年度豊栄地区公民館運営審議会資料」、続けて「令和 6 年度北地区公民館運営審議会資料」に基づき、事務局から説明を行いました。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>(土田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区公民館で、中学生ガイド養成講座での参加者が少数というのは、何人ぐらいか。 <p>(岩本館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確な数字は確認していないが、中学校と地域教育コーディネーターと講師によるガイド養成の座学で、2名ぐらいではないか。 <p>(土田委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かりました。ちょっと残念かと思う。 ・豊栄地区公民館のところでも。発展して企画して何かやるもの、例えば、企画をまたさらに広げて学生のサポートありのサタディキッズや。小学生ではなくてもワクワクして、行きたくなるような感じの、大学生の参加する企画だったりなど。 <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区公民館の文化祭事業の廃止について、利用団体連絡協議会の解散によってということだが、また別なものができて、ということはないのか。この連絡協議会は、文化祭のためのものなのか。 <p>(岩本館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭を行うことがメインとなっているが、公民館の有料化統一の前から、定期利用されてる団体の協議会有り、年末になったらみんなで部屋を掃除しますとか、そのような施設の管理のご協力という部分は、協議会の事業としてあった。 <p>(倉島委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館で作品発表の場というのはやりがいにもつながり、自分たちの頑張るモチベーションにもなる、というのはあって、それで何とか続けられるようにコロナ禍でやらない時も 4 団体だけ集まってやり、やはり楽しいし、自分たちも励みにもなった。今回こういう残念な結果になってしまったが、できる団体は、自分たちでこの期間やらせてくださいと、言って、小さい発表の場を予定しているようだ。しかし、年々作品数も減って、昨年やった時も今年はその会を出してないんだね、と聞かれて、残念ながら出られないとか、解散したと聞くと、何とも切ないものがある。 ・豊栄地区公民館で、前からのいろいろな事業を見直して、さらにブラッシュアップして行ってるのを聞くと、北地区としては、残念な形になっているのが、これからの問題ではないかと思った。 <p>(3) 「公の施設に係る受益者負担の設定基準について」</p> <p>「【概要版】公の施設に係る受益者負担の設定基準について」の資料に基づき、事務局より説明を行いました。</p> <p>→意見なし</p>
-----	--

内 容	<p>(4)「次年度以降の公民館運営審議会について」</p> <p>事務局より、説明を行いました。(資料なし)</p> <p>委員より、意見を伺った後、別紙「公民館運営審議会一本化に対する意見聴取」により、改めて意見を提出いただくこととされた。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館運営審議会の本化は、決定事項なのか。以前からそういう話はあったのか。 <p>(渡辺館長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決定事項であり、過去にもそういう話はあったが、やはり各区の図書館運営審議会とは別であり、公民館は地域に根ざしたものだということで一旦止まったことがあったが、やはり、ということいろいろな見直しが今かかっている。全庁的に予算上も人的なものも全てかかっており、見直すことは決定ではある。ただし、このやり方や意見を吸い上げること、というやり方が一番いいのか。というのは重要な点である。決まった形式で進むのではなくて、みなさんの意見をいただいたうえで、どこに問題があるかというのをご意見いただきたい。 <p>(栗原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市に住みよい郷土推進協議会がある。北支部の支部長をやっているが、北区は今までやってきた住み郷の事業を全てコミュニティ協議会などでやれるので、8つの支部から北区は抜けましようとして動いている。やっぱりこういうのが出てくるんだなと思った。 <p>全然温度差が違う、北区と中央区では全然温度差が違う。同じ協議会の中でも。それを一緒にしていこうというのは、無理である。</p> <p>公民館の審議会にしても、それぞれのいいところが出ている。今後、北区の見解がとおるのかどうか。</p> <p>(梅津委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そもそも公民館って何なんだろうと。公民館という場所は、やっぱり学校教育ではない、社会教育、生涯学習の場で、すごく大事な場所であって、この豊栄地区公民館が基幹公民館の1つとして大変頑張っている と思っている。 <p>それで、もしその公民館の運審が一つになって、79名から10名になって、そこで予算的なことを一つクリアできるかもしれないが、果たしてそれでいいのかと思う。</p> <p>公民館はなくなるとは思わないけれども運審は一つになる。では、運審で何の話をするのだろうかと思う。</p> <p>地域の人たちはそれぞれ違うし、課題も違う。何を学びたいかも違う。</p> <p>だからこそ基幹公民館に運審があればいいのではないかなと思う。</p> <p>社会の流れで、財政的な面から言えば、図書館運営協議会のように一本化というのも仕方がないのかなという気もするが、自分としてはやっぱり、基幹公民館にあることが大事なのではないかなと思う。</p> <p>(渡辺委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的機関としてなかなか難しいことかもしれないが、各公民館を実際に利用している団体の方が審議会に参加されて、直接意見を委員としておっしゃってる、というところをすごく大事だなと思っている。方針として決まっていることは、それは淡々とそうなるだろうと思うが、今言われたように地域密着が公民館の価値として非常に大事なことであれば、審議会のやり方を少し工夫するだけで、利用者の意見を少しそこに載せられたらいいかなと思う。 <p>クローズである必要性がどうしてもあるのであればダメだが、例えば ZOOM などパブリックビューイングができるようにして、ZOOM のチャットを使って、</p>
-----	---

それぞれの皆さんが今この審議会がされているその意見に対して、豊栄地区はこうだよねと、そこに意見が言えるというような審議会のやり方を考えていただくという方法で、各地区の温度差それ当然違うと思うんですね。そこを違うんだなっていうのが、チャットを通じて見えてくるような形ができれば、それこそもっと立体的にできるんじゃないかなと。方法をちょっと工夫してみてもいいんじゃないかなと。方法をちょっと工夫してみてもいいんじゃないかなと。方法をちょっと工夫してみてもいいんじゃないかなと。方法をちょっと工夫してみてもいいんじゃないかなと。

4 その他

・「公民館と学校等との連携状況について」

石黒委員より、「学校運営協議会により地域学校協働活動としての平和学習の実施について（報告）」の資料により、報告がありました。

→拍手あり

・「職場体験の状況について」

事務局より、南浜中学校、早通中学校の生徒による豊栄地区公民館における職場体験の様子について、報告を行いました。

【質疑・意見等】

(倉島委員)

・学校、生徒と公民館との関わり方について、おととい北区の小学校のコーディネーターが公民館との関わりを考える、というテーマで研修をやらせていただき、本日と同じように事業計画などいろいろ話を聞いた。後でコーディネーター同士で話をした中では、新しいことを何か協働でやろうというのは、なかなか難しいのではないかと、学校の授業に公民館の活動のようなものを組み込もうとすると、それも厳しい状況ではないかと、という話になった。

ただ顔の見える関係性が築けていれば、いつでもこういう風に何かの取っ掛かり、きっかけになるのではないかとということで、公民館が企画を考えるときに、学校の年間行事スケジュールの確認や、これをやろうと思うけどどうか、と言われた時にこっちがいいとか、そこは運動会が近いからやめたほうがいいですとか、6年生が修学旅行でいない時期なので、参加者が少なくなるかもしれない、などの情報を提供したり、情報交換する。

日程を決める時に、相談に乗るようなところから連携して行って、北区の仲の良さが活かせるように、常に顔が見えて、お互い連絡の取りやすい関係性を築く、っていうのも一つなのではないかと、という結論に至った。

何となくお互い時間もなくて、予算もなく、なかなか忙しい。子供も忙しい。先生方も忙しい中で、どうやって連携して事業と言われた時に、まずはじゃあコーディネーターと公民館が仲良くするのがいいのかな、という結論になっていましたので、そこら辺を声をかけながらやっていけたらなと思っています。

(玉井委員)

・職場体験の受け入れありがとうございました。夏休み前に地域の方も参加できるオープンスクール、というのがあり、公民館の職場体験に行っていた学年の子が発表会をやっていたが、いろんな活動をしていることが分かったということと、職員の皆さんが掲示物であるとか、チラシの置き方など、こういう風に工夫しているとか、いろんな職員の方のその工夫が見れて、それもとてめえ勉強になった、と言っていたので、すごい実りのある職場体験だったんだなあと思った。本当にありがとうございました。

・地域的に子供たちがいろんな体験をするのが少ないというのもあって、こんなのやってみないかと、公民館で質問された時に、頭の中に選択肢が多分少なかったのではないかなと思う。文化的活動に対して特にであるが、簡単に陶芸をやるとか、ここでやっているような活動をこの地でやるということが難しい場所である

内 容

内 容	<p>ので、そういうことがもっとたくさん経験できれば、そう聞かれた時にこんなのでやってみたい、というのが言えたのではないか。</p> <p>公民館の活動で中学生が参加できるようなものいろいろあり、行きやすい環境であれば、私としてももっと参加してもらいたいと思う。</p>
傍 聴 者	0人
会 議 資 料 等	<p>第9期第3回 豊栄地区公民館運営審議会 次第 新潟市公民館事業の基本方針 令和6年度 豊栄地区公民館運営審議会資料 別冊参考資料（豊栄地区公民館と北地区公民館分） 【概要版】公の施設に係る受益者負担の設定基準について 公民館運営審議会一本化に関する意見聴取 「学校運営協議会により地域学校協働活動としての平和学習の実施について (報告)」</p>